

市職員のリスクリング「学び直し」について

提案内容	<p>現在、早いスピードで社会が変化をしております。特にIT化が進み世界の情報が瞬時に伝わるような時代であると思います。自治体間の政策競争もこれまで以上に激化して行くものと思われま。</p> <p>社会状況の変化をいち早く把握し、雲南市発展に繋げるには市職員の皆さんが今まで一生懸命に研鑽を積まれておられるとは存じますが、ここでIT化の進展を踏まえて新たに「学び直し」を行い、新しい発想で市民の負託に答えて頂く為に一層の研鑽を積まれることを希望居ています。</p> <p>具体的な提案をさせていただきます。日本経済新聞には世界経済の動きを始め日本の課題や情報が解説付きやシリーズで掲載しております。日本経済新聞の情報が必要な関係部局でそれぞれに購読し、担当者を置いて必要な情報を切り抜きし情報集積を図り、これを資料に「学び直し」の材料に活用され政策立案能力の向上に役立てられては如何でしょうか。</p>
回 答	<p>現在、企業誘致や商工業振興などを所管している産業振興部商工振興課が日本経済新聞を購読しております。</p> <p>商工振興課では、毎日、地域産業支援グループ担当主査が業務の参考となる記事を確認、必要に応じて部内・課内への周知を行い、情報共有を深めております。</p> <p>ご提案の「学び直し」の材料として活用し、政策立案能力の育成・向上に繋がるよう、商工振興課が行っている取り組みを工夫しながら継続していきたいと思っております。貴重なご提案、ありがとうございます。</p> <p>また、その他の新聞（山陰中央新報・島根日日新聞・読売新聞・朝日新聞）は、総務部で一括購読し、本庁舎内全部局の情報収集等に活用しております。</p> <p style="text-align: right;">（回答部署：総務部人事課）</p>